

## 北海道大学で第8回村上春樹国際シンポジウムを開催

～村上春樹文学における『移動』をテーマに国内外の研究者が発表～

### 【概要】

北海道大学で、世界的に有名な日本の作家・村上春樹に関する国際シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、沼野充義教授（東京大学大学院人文社会系研究科・文学部）、押野武志教授（北海道大学大学院文学研究院）、金水 敏教授（大阪大学大学院文学研究科）による基調講演や、日本・中国の研究者によるパネルディスカッション、**総勢 40 名に上る東アジアを中心とした各国の研究者によるセッション（研究発表）**を行います。

### 【趣旨】

本シンポジウムは、台湾にある淡江大学の主催によって2012年から毎年、台湾と日本で開催しています。淡江大学は「村上春樹研究センター」を世界で初めて設立するなど、精力的に活動している大学です。

2019年度は、北海道大学大学院文学研究院映像・現代文化論研究室との共催により、「**羊をめぐる冒険**」や「**ダンス・ダンス・ダンス**」等の作品でゆかりの深い北海道・札幌の北海道大学で開催します。なお、今回は「村上春樹文学における『移動』」を統一テーマに、各国からの研究者たちが議論を交わします。専門家による学術レベルのシンポジウムですが、**興味のある一般の方々、学生にも広く公開**します。

【日 程】2019年7月20日（土）9:30～16:30 及び7月21日（日）9:30～15:20

【場 所】北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（札幌市北区北10条西7丁目）  
JR 札幌駅北口より徒歩12分

【主 催】淡江大学村上春樹研究センター

【共 催】北海道大学大学院文学研究院映像・現代文化論研究室

【後 援】北海道大学大学院文学研究院ほか

【対 象】一般市民、学生

【参加費】無料

【言 語】日本語

**【プログラム】** 7月20日（土）の一例 ※その他は別添プログラムに記載しています。

**9:50～10:40** 沼野充義教授（東京大学大学院人文社会系研究科・文学部）による基調講演  
「カモメは宇宙に飛び、ハルキはサハリンに向かう―村上文学における移動と世界文学空間」

**10:40～11:30** 押野武志教授（北海道大学大学院文学研究院）による基調講演  
「本格ミステリから読む村上春樹―〈アフターダーク〉から〈ビフォーダーク〉への移動」

**12:30～13:20** 金水 敏教授（大阪大学大学院文学研究科）による基調講演  
「村上春樹と方言について―登場人物・作家の移動と痕跡―」

**【申込方法】** 申込不要（ただし、満員の場合には入場をお断りすることがあります）

**お問い合わせ先**

北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室主任 教授 中村三春（なかむらみはる）

T E L / F A X 011-706-4047

メール miharu@let.hokudai.ac.jp（ご連絡はできるだけメールでお願いします）

U R L <https://www.let.hokudai.ac.jp/event/10247>

**配信元**

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

2019年第8回村上春樹国際シンポジウム

土曜日

# 村上春樹文学における「移動」 プログラム *Movement*

日程 2019年7月20日(土)・21日(日)・22日(月) 参加申し込み <https://forms.gle/WSxrQJngsdMh66c7>  
会場 北海道大学札幌キャンパス 人文・社会科学総合教育研究棟

2019年7月20日(土曜日)

0900-0930	受付	
0930-0940	開会式	会場 W203 司会 小林 由紀 (東呉大学非常勤助理教授) 開会の辞 曾 秋桂 (淡江大学村上春樹研究センター主任) 笠原 正典 (北海道大学 理事・副学長) 呉 萬寶 (淡江大学外国語学部学部長)
0940-0950	休憩時間	
0950-1040	基調講演①	会場 W203 司会 落合 由治 (淡江大学教授) 題目 カモメは宇宙に飛び、ハルキはサハリンに向かう—村上文学における移動と世界文学空間 講演者 沼野 充義 (東京大学教授)
1040-1130	基調講演②	会場 W203 司会 頼 振南 (輔仁大学教授) 題目 本格ミステリから読む村上春樹—〈アフターダーク〉から〈ビフォーダーク〉への移動 講演者 押野 武志 (北海道大学教授)
1130-1230	昼食時間	
1230-1320	基調講演③	会場 W203 司会 頼 錦雀 (東呉大学教授) 題目 村上春樹と方言について—登場人物・作家の移動と痕跡— 講演者 金水 敏 (大阪大学教授)
1320-1325	休憩時間	
1325-1330	セッション	会場 W203 コメンテーター 周 玉慧 (台湾中央研究院研究員)
1330-1350		発表者① 大村 梓 (山梨県立大学准教授) 題目 「踊る小人」における語りと暴力性
1350-1410		発表者② 清水 泰生 (同志社大学嘱託講師) 題目 村上春樹とランニングと音楽
1410-1430		発表者③ 呉 萬寶 (淡江大学教授) 題目 關於跑步, 村上說的其實是... —村上的跑步手記
1430-1445		質疑応答
1445-1450	休憩時間	
1450-1500	パネルディスカッション	テーマ 村上春樹文学における「移動」(Movement) 会場 W203 司会 曾 秋桂 (淡江大学村上春樹研究センター主任)
1500-1600		パネリスト① 沼野 充義 (東京大学教授) パネリスト② 押野 武志 (北海道大学教授) パネリスト③ 金水 敏 (大阪大学教授) パネリスト④ 中村 三春 (北海道大学教授) パネリスト⑤ 高橋 龍夫 (専修大学教授) パネリスト⑥ 鄒 波 (復旦大学准教授)
1600-1630		総合討論
1700-1900	懇親会	会場 レストランエルム (北海道札幌市北区北11条西8丁目) 司会 小林 由紀 (東呉大学非常勤助理教授)

主催 淡江大学村上春樹研究センター・淡江大学日本語学科

共催 北海道大学大学院文学研究院映像・現代文化論研究室

助成 国際交流基金

後援 北海道大学大学院文学研究院・淡江大学出版センター・台湾日本語教育学会・台湾日本語学会・日本比較文化学会・瑞蘭国際出版・淡江大学日本語学科08会

会場担当 北海道大学大学院文学研究院映像・現代文化論研究室主任 中村三春

# 2019

## 年第8回村上春樹国際シンポジウム

7  
21・22

# 村上春樹文学における「移動」 Movement プログラム

日程 2019年7月20日(土)・21日(日)・22日(月) 参加申し込み <https://forms.gle/WSxrQJngsdMh66c7>  
会場 北海道大学札幌キャンパス 人文・社会科学総合教育研究棟 7月21日(日曜日)・7月22日(月曜日)

	会場 W104	会場 W205	会場 W308	会場 W408
0930-0935	セッション① コメンテーター中村三春(北海道大学教授)	セッション② コメンテーター坂元昌樹(熊本大学准教授)	セッション③ コメンテーター黄如萍(高雄餐旅大学准教授)	セッション④ コメンテーター范淑文(台湾大学教授)
0935-0955	山根 由美恵 (広島大学客員准教授) リーダー像からみる「1Q84」-「1Q84」 世界からの(移動)の是非-	落合 由治 (淡江大学教授) 小説の構造から見る村上春樹作品の語りと移動	萩原 桂子 (九州女子大学教授) 村上春樹『騎士団長殺し』における移動-『春宵物語』 「二世の縁」との通路-	林 裕二 (西南女学院大学教授) ノルウェイの森の一考察-揺れ動く心-
0955-1015	佐藤 敬子 (横浜市立大学看護短期大学元・非常勤講師) 移動する「ぼく」と待機する「老人」-村上春樹 『ふしぎな図書館』論-	都 波 (復旦大学教授) 中国の学生映画に移動した村上春樹文学-「100% の女の子・パン屋襲撃」の翻案を中心に-	曾 秋桂 (淡江大学教授) 『騎士団長殺し』における「移動」-国境を越えた ことの差異化	赤崎 学 (NPO法人・啄木・賢治を研究し、広める会) ドイツへの旅の途上で:『ノルウェイの森』冒頭の 一解釈
1015-1035	ディアン アンニサ ヌル リダ (東京外国語大学博士後期課程) 村上春樹文学における「コミットメント」を再検 討-『1Q84』を中心に-	趙 桂喜 (高麗大学兼任教授) 村上春樹文学における記憶の空間	内田 康 (淡江大学准教授) 移動する(幽霊)-村上春樹文学と上田秋成- 路-	落合 温子 (高等学校(愛知県)教諭) 何も無い「100パーセントの恋愛小説」-縁と珠子 を中心に-
1035-1050	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1050-1100	休憩時間			
1100-1105	セッション⑤ コメンテーター蕭麗正(中国文化大学准教授)	セッション⑥ コメンテーター 王嘉臨(淡江大学准教授)	セッション⑦ コメンテーター 邱若山(靜宜大学教授)	セッション⑧ コメンテーター 林裕二(西南女学院大学教授)
1105-1125	籍 謙省 (東呉大学教授) 『辺境・近境』から見る村上春樹の移動	高橋 由貴 (福島大学准教授) 『同時代としてのアメリカ』と『地獄の黙示録』 受容-初期短編小説における移動の問題-	高橋 龍夫 (専修大学教授) 『ハンティング・ナイフ』論-潜在するムーブメ ント/移動する舞台-	周 玉慧 (台湾中央研究院研究員) 旅の「移動」に関する現代の日本人の旅の形態と 心理的動機:『木野』から始まる
1125-1145	坂元 昌樹 (熊本大学准教授) 村上春樹と(辺境)の表象-『辺境・近境』を 読む	大野 建 (北海道大学博士後期課程) 『ザ・スコット・フィッツジェラルド・ブック』と都市間の移動- 小説としての『ゼルダ・フィッツジェラルドの短い伝記』-	楊 炳青 (北京外国語大学准教授) 村上春樹短編小説『レーダー・ホーゼン』-レーダ ー・ホーゼンの役割を中心に-	余 盛延 (台北科技大学教授) The Passage of Time and Existential Melancholy in Haruki Murakami's Trilogy of the Rat
1145-1155	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1155-1300	昼食時間			
1300-1305	セッション⑨ コメンテーター 賴瑋瑤(南台科技大学准教授)	セッション⑩ コメンテーター 内田康(淡江大学准教授)	セッション⑪ コメンテーター 高橋由貴(福島大学准教授)	セッション⑫ コメンテーター 楊炳青(北京外国語大学准教授)
1305-1325	賴瑋瑤 (南台科技大学准教授) 村上春樹『ハナレイ・ベイ』試論	王 佑心 (銘伝大学准教授) 『スポーツニクスの恋人』を読む-方法としての 「移動」	范 淑文 (台湾大学教授) 『海辺のカフカ』の主人公の移動-「空間」の働き 路-	蕭麗正 (中国文化大学准教授) 移動と消失-『国境の南、太陽の西』における「 島本」の真意-
1325-1345	飯干 大嵩 (専修大学修士課程) 村上春樹『偶然の旅人』論-他者との間で動く 「偶然」	石川 隆男 (台湾大学講師) 『スポーツニクスの恋人』論-移動・旅・居場所-	廖 秀娟 (元智大学准教授) (移動)の視点から読む村上春樹『神の子どもたち はみな踊る』	星野 智之 (編集者・著述家) 『羊をめぐる冒険』における移動とジャック・ロン ドンの旅路
1345-1405	黄 如萍 (高雄餐旅大学准教授) 『石のまくらに』論-摂取の関係を兼ねて	浅利 文子 (法政大学兼任講師) 『スポーツニクスの恋人』-「あちら側」への移動 と備をめぐる回転-	王 薇婷 (広島大学博士) 村上春樹文学における移動-『神の子どもたちは みな踊る』を中心に-	マツナー・チャトゥラセンパイロート (チューーロンコン大学講師) 村上春樹『タイランド』に関する一考察
1405-1420	質疑応答	質疑応答	質疑応答	質疑応答
1420-1425	休憩時間			
1425-1430	セッション⑬ コメンテーター 楊瑋瑤(南台科技大学准教授)	セッション⑭ コメンテーター 廖秀娟(元智大学准教授)	セッション⑮ コメンテーター 王佑心(銘伝大学准教授)	
1430-1450	王 嘉臨 (淡江大学准教授) 村上春樹作品における移動する女性たち	錦 咲やか (日本近代文学研究者) 世界記述の方法-『色彩を持たない多崎つくると、 彼の巡礼の年』の移動と贈与-	葉 堯 (淡江大学助理教授) 村上春樹文学研究視点の移動-Word2Vecを視座 にして-	
1450-1510	ヴァレンティナ・ジャンマリア (上智大学博士後期課程) 『騎士団長殺し』の「私」という英雄のクエス ト達成において不可欠な様々な女性の役割	葉 堯 (マレーシア・拉曼大学講師) 『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』に おける「移動」及び「心の問題」をめぐって		
1510-1520	質疑応答	質疑応答	1450-1455 質疑応答	
1520-1525	休憩時間			
1525-1535	閉会式 会場 W 408	司会 小林 由紀(東呉大学非常勤助理教授)	閉会の辞 曾 秋桂(淡江大学村上春樹研究センター主任) 中村 三春(北海道大学教授)	
1540-1640	慰労会 会場 W 308			

7月22日

オプション ツアー  
文学見学  
『羊をめぐる冒険』の聖地(美深町)めぐり  
問い合わせ: 星野智之 (090-3801-6386 メール: info@aoihoshi.co.jp)  
※ お問い合わせの際は必ず「村上春樹国際シンポジウム」の参加者である旨をお伝えください。

主催 淡江大学村上春樹研究センター・淡江大学日本語学科  
共催 北海道大学大学院文学研究院映像・現代文化論研究室  
助成 国際交流基金  
後援 北海道大学大学院文学研究院・淡江大学出版センター・台湾日本語教育学会・台湾日本語学会・日本比較文化学会・瑞蘭国際出版・淡江大学日本語学科08会  
会場担当 北海道大学大学院文学研究院映像・現代文化論研究室主任 中村三春